社会科学習指導案（地理的分野）

日　時　平成24年５月25日（金）　第２校時
対　象　１年１組（男子20名女子20名　計40名）
指導者　教　諭　　佐　伯　暁　仁

１　単　元　「世界各地の人々の生活と環境」

２　単元の考察

本単元は，世界各地の人々の生活の様子とその変容について，自然及び社会的条件と関連付けて考察させ，世界の人々の生活や環境の多様性について学習する。世界各地の人々の生活は，地形や気候などの自然的条件と，宗教や地域の歴史的背景，民族構成などの社会的条件という二つの環境条件と密接にかかわっている。また，伝統的な生活様式は変容しないものではなく，例えば，他の文化との接触や新しい技術の導入，経済活動の活発化といったさらなる諸条件によって変容してきている。

生徒は，アンケートによれば，社会科の学習に関心をもっている生徒は28名（70%）おり，ほとんどの生徒が社会科の学習に意欲的に取り組んでいると言える。しかし，分野別に見ると，歴史的分野に関心をもっている生徒が30名（75%）いるのに対して，地理的分野に関心をもっている生徒は10名（25%）にとどまった。生徒は小学校６年生の時に，日本とつながりの深い国の人々の生活の様子について学習してきている。しかし，ほとんどの生徒は，雪と氷の中で生活している国での寒さを防ぐための工夫や常夏の国々での暑さをしのぐための工夫については答えることができなかった。つまり，それぞれの地域で具体的にどのような生活が営まれていて，その生活が気候や地形などの自然的条件や宗教や民族などの社会的条件などと，どのように関連しているかについては説明ができなかった。これらのことから，世界各地の人々の生活をおおまかにイメージをもつことができているが，世界の人々の生活を自然及び社会的条件と関連付けて考察することができていないことが分かった。

指導に当たっては，世界各地の人々の生活と密接にかかわっている自然及び社会的条件に焦点を当て，世界各地の人々の生活の多様性に気付かせたい。そのために，まず，世界各地で見られる気候について取り上げ，どのような地域にどのような気候帯が広がっているのか，理解させる。次に，「温暖な地域」「乾燥した地域」「海抜が低い地域」「寒い地域」「寒暖の差が激しい地域」「暑い地域」「海抜が高い地域」という七つの特色ある自然環境をもつ地域を取り上げ，その地域で見られる衣食住の様子や宗教が生活にかかわる様子を具体的に追究させる。その際，衣食住の様子が読み取れる実物資料や写真，映像などを複数用意し，関連付けて考察させることにした。そして，中学１年生という発達段階を考慮し，トゥールミンの考え方に基づいて，資料を「根拠」ととらえ，そこから読み取れることを「論拠」として「主張」することができるようなワークシートを作成した。さらに，単元末には，思考力・判断力・表現力をみとるために，パフォーマンス課題「どこの国の様子か調べてみよう」に取り組ませる。これらの活動を通して，多様な文化を尊重しようとする態度を身に付けさせ，地理的な見方・考え方を身に付けさせるとともに，生徒の社会認識を深め拡げていくことにした。

3　単元の学習内容の構造化

複雑な概念・複雑な技能	基本的な知識・単純な技能
世界の人々の生活や環境について，自然及び社会的条件のもとで，多様な生活を営んでいること	
世界の気候は，気温や降水量によって，地域ごとに違ってくること	○ 寒帯　○ 乾燥帯 ○ 冷帯　○ 熱帯 ○ 温帯　○ 高山気候
イタリアでの生活が，気候の影響を大きく受けていること	○ オリーブ　○ 地中海性気候 ○ 温帯　○ キリスト教 ○ 梅雨
サヘルでの生活が，かんがい設備の整備やさばく化などにより，大きく変化してきていること	○ サヘル　○ 焼畑農業 ○ 遊牧　○ かんがい ○ 民族　○ さばく化 ○ オアシス　○ イスラム教
バンコクのような低い土地でくらすために，様々な工夫がなされていること	○ 雨季　○ 高床式の住居 ○ 乾季　○ 仏教
キリスト教やイスラム教，仏教などの宗教が，世界の人々の生活にかかわりがあること	○ 仏教　○ 三大宗教 ○ キリスト教　○ モスク ○ イスラム教　○ 断食 ○ ヒンドゥー教
フィジーでのくらしが，気候に大きく影響を受けていること	○ タロいも　○ さんごしょう ○ 熱帯　○ マングローブ ○ 熱帯雨林
イヌイットの伝統的なくらしが，近代化の影響を受けつつあること	○ イヌイット　○ 寒帯 ○ カリブー　○ イグルー
シベリアに住む人々が，寒さを克服するために様々な工夫を行っていること	○ シベリア　○ タイガ ○ 冷帯(亜寒帯)　○ 永久凍土 ○ 針葉樹
アンデス山脈のような標高の高い場所でくらすために，様々な工夫をしていること	○ アンデス山脈　○ じゃがいも ○ 標高　○ アルパカ ○ とうもろこし　○ リャマ
自然環境に応じた伝統的な生活の工夫は，世界各地で数多く残っていること	○ ポンチョ　○ ハンバーガー ○ チャドル　○ ピザ ○ パスタ　○ カレー
パフォーマンス課題「どこの国の様子か調べてみよう」に取り組み，習得した知識，概念や技能を活用して，自己の主張をまとめること	○ パフォーマンス課題の設定 ○ これまでの学習の構造化 ○ 自己の主張のまとめ

4　単元の目標

(1)　世界各地の人々の生活と自然及び社会的条件とのかかわりを意欲的に追究させる。
（社会的事象への関心・意欲・態度）

(2)　世界各地の人々の生活と宗教，歴史的な背景等の社会的条件とのかかわりについて，多面的・多角的に考察させ，自分の言葉で表現させる。
（社会的な思考・判断・表現）

(3)　世界各地の人々の生活が多様に広がることを，様々な写真や資料から読み取らせ，自然及び社会的条件とのかかわりについて適切にまとめさせる。（資料活用の技能）

(4)　世界各地の人々の生活が多様であることや，その生活と自然及び社会的条件とのかかわりについて理解させ，その知識を身に付けさせる。
（社会的事象についての知識・理解）

5　単元の指導計画と評価の重点（全11時間）　―――― 評価（授業中）　―――― 評価（授業後）

主な評価場面と学習内容（基本的な知識・単純な技能）	時間	評価規準 関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解	主な言語活動の具体的場面
世界の気候区分 世界の気候が，気温や降水量によって，地域ごとに違っていることを理解する場面 ○ 寒帯　○ 乾燥帯 ○ 冷帯(亜寒帯)　○ 熱帯 ○ 温帯　○ 高山気候	1		世界各地の気候の特色を，寒帯，冷帯，乾燥帯，温帯，熱帯，高山気候に関する特徴的な気候の特色について，写真や資料から，それぞれの地域の気候の特色について，気温や降水量，植生などの観点

6　本時の実際（5／11）

(1)　主　題　　「人々の生活に根ざす宗教」

(2)　本時の目標

ア　様々な宗教と世界の人々の生活とのかかわりについて，資料等を考察させ，それを適切に表現している。(社会的な思考・判断・表現)

イ　様々な宗教が，世界の人々の生活にかかわり，影響を与えていることを，資料から読み取らせたり，まとめたりしている。(資料活用の技能)

(3)　主題の考察

本単元は，世界には様々な宗教があり，宗教とかかわりの深い生活が営まれていることを学習する。世界三大宗教と呼ばれるのは，キリスト教，イスラム教，仏教である。その人口は，キリスト教が約22.8億人(33.0%)，イスラム教が約15.5億人(22.5%)，仏教が約4.6億人(6.7%)とされている(2009年調査)。しかし，これらの宗教以外にも，ヒンドゥー教やユダヤ教，神道など，世界各地で様々な宗教が見られる。そして，同じ地域であっても，宗教だけでなく，歴史的背景や民族構成など，他の社会的条件により，世界の人々の生活には違いが見られる。

生徒は，小学校では，宗教についてほとんど学習していない。しかし，正月に神社や寺に初詣に出かけ，盆には墓参りへ行き，さらには，結婚式にはキリスト教の教会や神前で，葬式は寺でと，様々な宗教と生活の中で身近に存在していると言える。アンケートによれば，まず，宗教について自由に書かせたところ，14名(35%)の生徒が「よく分からない」と答えた。また，「心を安らかにするもの」「信じるもの」と答える生徒がいる一方で，「内容が分からないと不安」と答える生徒も少なからずいた。これらのことから，世界各地における様々な宗教の存在は身近なものであるが，それは漠然としたものであり，その内容や生活に与える影響まで理解するに至っていないことが分かった。

そこで，指導に当たっては，イスラム教を主に取り上げる。それは，三大宗教の一つでありながら，日本人にとってもっとも縁遠い存在の宗教だと思われるからである。生徒は，これまでの地理的分野の学習において，「温暖な地域」「乾燥した地域」「海抜が低い地域」の各単元において，それぞれキリスト教，イスラム教，仏教について，おおよそ学習している。また，歴史的分野の学習において，仏教，キリスト教，イスラム教などが起こった地域が，それぞれインド，西アジアなどの「世界の文明地域」と重なることを学習している。これらを踏まえて，まず，仏教，キリスト教，イスラム教などの世界的に広がる宗教の分布を，地図や気候の分布図等と関連付けながら，考察させたい。また，映像や写真などの資料を用いて，イスラム教を信仰する人々の日本での生活について理解させる。その際，読み取り，解釈，説明などの言語活動を通して，世界の人々の生活を見る上での視点として，特に「衣」と「食」について，自然及び社会的条件とのかかわりを考察させていきたい。そして，これらの活動を通して，世界の様々な地域に対しての関心を一層高めさせ，世界の人々の生活と自然及び社会的条件とのかかわりを意欲的に追究させるとともに，多様な文化を尊重しようとする態度を養っていきたい。

(4) 研究に関する指導の工夫

【場に応じた言語活動の設定／研究冊子（３年次）p52】

読み取り，解釈，説明の言語活動を，本時の活動に適切に配置することで，思考力・判断力・表現力をはぐくませる。

【自己の主張に対する「根拠」と「論拠」の設定／研究冊子（３年次）p53】

資料を基にして，根拠や論拠を明確にさせながら，自己の主張を論理的に表現させる。

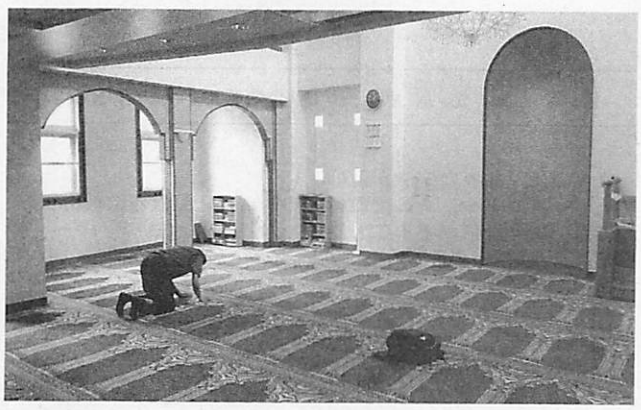
(5) 本時の展開 （５／11）

主な発問や指示	時	学習活動	指導上の留意点	情報提示の方法と内容
＜問題把握＞ ○ 何をしているのだろうか。	5分	1 様々な宗教における，宗教に関する写真を見て，何をしているのかを考えて，発表する。 2 学習課題を設定する。	1 世界には，様々な宗教が信仰されていることや，その宗教行為にも，様々な形があることを理解させる。 2 世界各地には，様々な宗教があることに関心をもたせながら学習課題を設定する。	ＴＰ１ ある宗教における宗教行為
宗教は，世界の人々の生活とどのようにかかわっているのだろうか。				
＜本質究明＞ ○ 世界各地には，どのような宗教が信仰されているのだろうか。	5分	3 世界各地でどのような宗教が信仰されているのか考えて，発表する。	3 歴史的分野や前時までの学習を踏まえて，三大宗教やヒンドゥー教，ユダヤ教などを確認させる。	
○ 世界各地で，宗教はどのように分布しているのだろうか。	10分	4 世界各地で，宗教がどのように分布しているのか，資料を基に読み取り，その分布についてまとめて，発表する。	4 様々な宗教がそれぞれ特色のある分布をしていることを，地図や言語の分布図，気候の分布図等と宗教の分布図とを関連付けながら，解釈し，自分の言葉で説明させる。	ＴＰ２ 世界各地の宗教の分布図 ワークシート 言語や気候の分布図
		【資料活用の技能】 様々な宗教が，人々の生活にかかわり，影響を与えていることを，資料を基にして，読み取ったり，まとめたりしている。		
○ なぜ，ムスリムの女性はこのような衣装を着ているのだろうか。	6分	5 イスラム教の「衣」の特色について，写真から読み取り，発表する。	5 イスラム教の「衣」の特色を，写真等を用いて理解させる。	ＴＰ３ ムスリムの女性
○ ムスリムは，どのような食生活を営んでいるのだろうか。	8分	6 イスラム教の「食」の特色について，資料から読み取り，発表する。	6 イスラム教の「食」の特色を，ハラール制度の実態を踏まえて理解させる。	ＴＰ４ ｲﾝﾀｰﾅｼｮﾅﾙﾌｰﾄﾞｾﾐﾅｰのポスター
○ ムスリムは，日本でどのような生活を営んでいるのだろうか。	8分	7 イスラミックフードフェスティバルや福岡モスクの写真やインタビューの内容から，ムスリムの生活について読み取り，発表する。	7 ムスリムが日本における生活において，イスラム教の理解を深めるために，様々な活動に取り組んでいることを理解させる。	ＴＰ５ イスラミックフードフェスティバルの様子 ＴＰ６ 福岡モスクの写真 映像資料 ムスリムの礼拝の様子
		【社会的な思考・判断・表現】 様々な宗教と世界の人々の生活とのかかわりについて，資料等を考察し，それを適切に表現している。		
＜洞　察＞ ○ なぜ，福岡モスクの完成までに期間がかかったのだろうか。	8分	8 新聞記事から，福岡モスクの完成までの経緯と反対の理由について考えて，発表する。	8 世界各地には様々な宗教があり，世界各地の生活ともかかわりがある中で，それらを尊重する態度をもたせる。	ＴＰ７ 福岡モスク建設に関する新聞記事

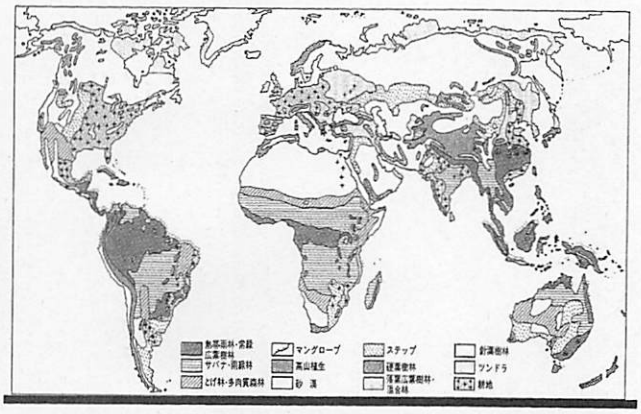
□は評価場面，（　）は授業中における評価観点，（　）は授業後における評価観点

(6) 主な資料

資料１　イスラム教の祈り

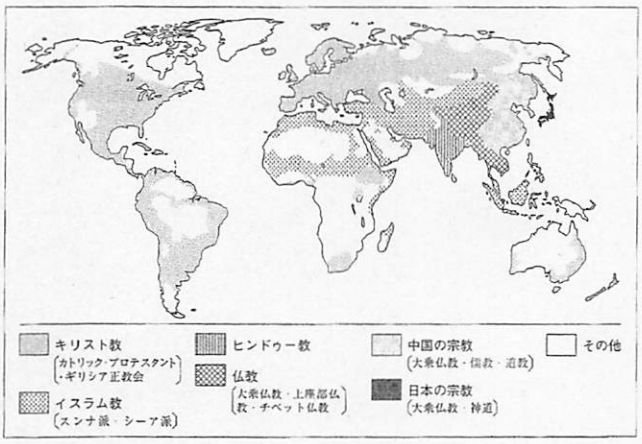


資料２　世界の気候の分布図



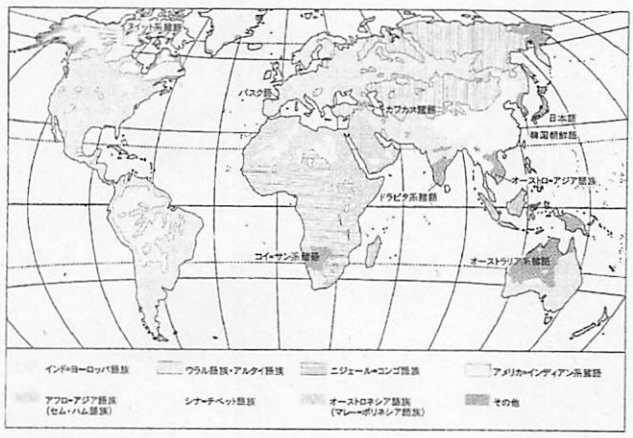
『地理用語集　山川出版社』

資料３　世界の宗教の分布図



『地理用語集　山川出版社』

資料４　世界の言語の分布図



『地理用語集　山川出版社』

資料５　インターナショナルフードセミナーのポスター

資料６　福岡モスク